

情報システム学科 カリキュラムフローチャート (2012年度以降入学生)

	カリキュラムポリシー	1年次	2年次	3年次	4年次	ディプロマポリシー
システム系	情報システムの重要な要素技術であるソフトウェアシステムの知識を教育する。情報システムの構築・解析・応用、情報システムの多様な側面、システムを計画・設計する手法、新しい情報システム技術を創造・開拓していくために役立つ幅広い教育を展開する。	Unixシステム入門 ■システム工学	情報検索 オペレーションズリサーチ 経営システム論 システム制御	人工知能 ■情報システムの計画策定 情報技術応用システム Webサービス論 モデリングとシミュレーション	高信頼システム	1) 情報システムが社会、自然等に及ぼす影響に強い関心を持ち、それをよりよいものに改善していくことに意欲を持つ。
情報通信	情報システムと密接に関連する情報通信技術や、インタフェースなどの多様な技術を学習できる教育を実施する。	通信理論 コンピュータグラフィックス I	ヒューマンインタフェース ■ネットワーク設計	構造化文書処理 アドバンスドネットワーク		2) 情報システムの発展・改良に向け、広い視野および倫理的な視点から判断、行動できる。
専門共通	社会のニーズに応える情報システムを構築するための情報システムに対する深い関心と理解およびその構成要素に関する知識と要素技術を統合してシステムとしてまとめていくことのできる技術者を育成するためのデザイン・エンジニアリング技術を教育する。	●計算機アーキテクチャ ●オペレーティングシステム ■情報セキュリティ ■データベースシステム ■システムプログラム※ ■データ構造とアルゴリズム I ●ソフトウェア工学 I ■ソフトウェア工学 II アセンブリ言語 信号処理	●データ構造とアルゴリズム II ■プログラミング言語論			3) 情報システムに関連する数学などの理工学およびコンピュータに関する基礎能力を持つ。
専門基礎	コンピュータのハードウェアとソフトウェアさらには情報通信の仕組み、プログラミングなどの情報科学の基礎について教育する。	●コンピュータ入門 ■プログラミング基礎※ ■情報通信ネットワーク アナログ回路 デジタル回路 ●テクニカルライティング (情報処理基礎)	■オートマトンと形式言語			4) 情報システムを構成する要素技術、専門知識を理解・統合し、それを適用してシステムを自ら提案し、設計、開発できる。
数理科学	情報科学の基礎となる数理科学に関する教育を実施する。	■線形数学 I 微分方程式 ■グラフ理論 ■情報数学 ■確率・統計 ■微積分学 I 周波数解析	数値計画法 線形数学 II 微積分学 II			5) 提案書、設計書などの技術文書を正確、論理的に記述できる。
演習ゼミナール系	情報システムを構築するためのプログラミングやシステム開発に関する技術を実際に体験する。また、少人数によるゼミナールにおいて、学んだ専門技術、知識を駆使し、社会に役立つシステム、ソフトウェアを提案し、雛形のシステムの開発を行い、他者との協働をも含めた実践的な学習をする教育を実施する。	エレクトロニクス基礎 ●C演習 I ■C演習 II ■Java演習 ■ソフトウェア工学演習 コンピュータリテラシー	●情報ゼミナール ●情報システム基礎演習 ●情報システム専門演習			6) 発表、討論などの双方向対話において、相手の考えを論理的かつ正確に伝えることができるとともに、他者と協働して活動することができる。
キャリア支援系	人と情報システムとのかかわりや情報システムが社会に与える影響を理解し、社会に貢献する考え方を学ぶ。情報技術者としての素養を身につけ、優れた技術者にとって専門技術と表裏一体となる人間力を練磨する教育を実施する。	基礎ゼミナール* キャリアステップ キャリアデザイン I キャリアデザイン II	●情報技術者論	特別講義		2) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力
総合人間学系	人文社会学 語学 健康科学	倫理学基礎 人類の歴史 言語学基礎 (前期or後期) 人間発達と人権 英語表現 (basic1) a 英語表現 (basic1) b 英語表現 (basic2) a 英語表現 (basic2) b 口語英語Ia 口語英語Ib 口語英語IIa 口語英語IIb 英語の語法 日本語 I 日本語 II 英語による情報技術 I a 英語による情報技術 I b 英語による情報技術 II 海外語学研修 (前期or後期) 海外語学研修 (前期or後期) 海外語学研修 (前期or後期) 基礎スポーツ科学a 基礎スポーツ科学b スポーツ科学実習 健康科学	心理学基礎 (前期or後期) 日本の歴史 文学基礎 (前期or後期) 観る文学 (前期or後期) 社会学基礎 日本国憲法 経済学基礎 (前期or後期) 現代経済論 情報社会学 法学基礎 科学技術と産業政策 (前期or後期) 産業政策概論 (前期or後期)	哲学基礎 応用倫理学 宗教文化史 情報社会学 情報法学 科学技術と産業政策 (前期or後期) 産業政策概論 (前期or後期)		
総合理学系	自然科学・総合	生命科学基礎 情報生命科学 化学基礎 (前期or後期) 環境情報科学 (前期or後期) 物理学基礎 電磁気学 力学 (前期or後期) 地球科学基礎 地球環境	物理現象の数理 現代物理学入門 観る自然科学	科学史		

●:必修科目、■:選択必修科目(CS必修) *領域区分は共通科目 ※ 2013年度以降入学生は選択科目

1年終了時での目安となる履修・修得単位数	2年終了時での目安となる履修・修得単位数	3年終了時での目安となる履修・修得単位数	卒業要件
共通科目及び1年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目8単位を含め、40単位以上を修得することが望ましい。 【コンピュータ・サイエンスコース選択要件】 ①2年次であること ②履修申請時において次の科目を修得していること 線形数学 I コンピュータ入門 プログラミング基礎 (2012年度入学生) C演習 I	共通科目及び1～2年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目8単位を含め、80単位以上を修得することが望ましい。 【情報ゼミナール履修要件】 総修得単位数62単位以上	共通科目及び1～3年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目8単位を含め、120単位以上を修得することが望ましい。 【卒業研究履修要件】 次の要件をすべて充足していること イ. 総合人間学系 20単位 ロ. 総合理学系 10単位 ハ. 専門科目 70単位(必修科目12単位、選択必修科目12単位を含む) ニ. 総計 100単位以上(教職に関する科目の単位は除く) ホ. 情報ゼミナールの単位を修得している	【卒業要件】 「総合コース」 人文社会科学 14単位 外国語 9単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理学系 14単位 専門科目(必修) 28単位 専門科目(選択) 58単位(選択必修科目12単位を含む) (合計) 124単位 「コンピュータ・サイエンスコース」 人文社会科学 14単位(コース選択必修科目12〔8〕単位を含む) 外国語 9単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理学系 14単位(コース選択必修科目8〔6〕単位を含む) 専門科目(必修) 28単位 専門科目(選択) 58単位(選択必修科目42〔38〕単位を含む) (合計) 124単位 [] は2013年度以降入学生

※科目名の前の●は必修科目、■は選択必修科目(CS必修)を示す。

情報システム学科 カリキュラムフローチャート (2011年度以前入学生)

領域	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	線形数学 I 微積分学 I ●コンピュータ入門	微分方程式 デジタル回路 アナログ回路	グラフ理論 確率・統計	情報数学		数理計画法		線形数学 II 微積分学 II
	Unix入門	プログラミング基礎 C演習 I (情報処理基礎)	Java演習	システムプログラム データベースシステム アセンブリ言語 C演習 II ソフトウェア工学 I (情報処理基礎)	オペレーティングシステム オートマトンと形式言語 データ構造とアルゴリズム ソフトウェア工学演習 ソフトウェア工学 II 情報検索	プログラミング言語論 構造化文書処理 (情報処理基礎)		
			周波数解析 コンピュータグラフィックス I	システム工学 信号処理	オペレーションズリサーチ ヒューマンインタフェース	モデリングとシミュレーション 情報システムの計画策定 情報技術応用システム 人工知能	高信頼システム	
		通信理論		情報通信ネットワーク	情報セキュリティ ネットワーク設計	アドバンスドネットワーキング		
	エレクトロニクス基礎 コンピュータリテラシー				●情報システム基礎演習	●情報システム専門演習		
	基礎ゼミナール	キャリアデザイン	●テクニカルライティング			●情報ゼミナール ●情報技術者論		知的財産法概論 ●卒業研究 特別講義
共通科目	倫理学基礎	人類の歴史	心理学基礎(前期or後期) 日本の歴史	哲学基礎 応用倫理学 宗教文化史				
	言語学基礎(前期or後期)		文学基礎(前期or後期)	情報社会論 法学基礎 現代経済論	科学技術と産業政策(前期or後期)	産業政策概論(前期or後期)		
	人間発達と人権		社会学基礎 日本国憲法 経済学基礎(前期or後期)	情報法学				
	英語表現 I a 口語英語 a 日本語 I	英語表現 I b 口語英語 b 日本語 II	英語表現 II a 実践英語 I a 英語による情報技術 a	英語表現 II b 実践英語 I b 英語による情報技術 b	英語表現 III a 実践英語 II a	英語表現 III b 実践英語 II b		
基礎スポーツ科学 a		健康科学	基礎スポーツ科学 b	スポーツ科学実習				
生命科学基礎 化学基礎(前期or後期) 物理学基礎	情報生命科学 環境情報科学(前期or後期) 電磁気学	物理現象の数理	現代物理学入門 視る自然科学			科学史		
地球科学基礎	地球環境							

1年終了時での目安となる履修・修得単位数	2年終了時での目安となる履修・修得単位数	3年終了時での目安となる履修・修得単位数	卒業要件
共通科目及び1年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目2単位を含め、40単位以上を修得することが望ましい。 【コンピュータ・サイエンスコース選択要件】 ① 2年次であること ② 履修申請時において次の4科目を修得していること 線形数学 I コンピュータ入門 プログラミング基礎 C演習 I	共通科目及び1～2年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目4単位を含め、80単位以上を修得することが望ましい。 【情報ゼミナール履修要件】 ① 総修得単位数55単位以上 ② 次の7科目18単位の中から12単位以上修得していること プログラミング基礎 2単位 計算機アーキテクチャ 2単位 システムプログラム 2単位 Unix入門 2単位 コンピュータリテラシー 2単位 C演習 I 4単位 Java演習 4単位	共通科目及び1～3年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目12単位を含め、120単位以上を修得することが望ましい。 【卒業研究履修要件】 次の要件をすべて充足していること イ. 総合人間学系 20単位 ロ. 総合理化学系 10単位 ハ. 専門科目 70単位(必修科目8単位、選択必修科目12単位を含む) ニ. 総計 100単位以上(教職に関する科目の単位は除く) ホ. 情報ゼミナールの単位を修得している	【卒業要件】 「総合コース」 人文社会科学 14単位 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理化学系 14単位 専門科目(必修) 16単位 専門科目(選択) 80(70)単位(選択必修科目12単位を含む) (合計) 134(124)単位 「コンピュータ・サイエンスコース」 人文社会科学 14単位(コース択必修科目12単位を含む) 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理化学系 14単位(コース択必修科目8単位を含む) 専門科目(必修) 16単位 専門科目(選択) 80(70)単位(選択必修科目56単位を含む) (合計) 134(124)単位

※科目名の前の●は必修科目を示す。

※単位数の後の()の単位数は、2011年度入学生に適用する。